社会資本総合整備計画 事後評価書 令和05年03月28日

1145		<u> </u>											
計画の名称	安全・安心で快適な	な暮らしを支える下れ	- 水道整備の推進										
計画の期間	平成28年度	~ 令和02年度	(5年間)								重点配分対象の該当		
交付対象	豊橋市												
計画の目標	・汚水整備を推進し	して、生活環境の向」	上と河川や三河湾などの公共	甲水域の水質	保全を図るとと	もに、市街	地における雨水整備	により、浸水のない安	全安心な市民生活の確保	呆を図る。			
	・合流式下水道のご	牧善や老朽施設の適 <sup>は</sup>	切な改築更新により、下水道	施設の質的向	上と機能の維持	を図る。							
	・施設の耐震対策な	を適切に実施すること	とにより、災害に強い施設を	目指す。									
	・設備の適切な改築	築更新により、下水道	道施設の質的向上と機能の維	持を図る。									
全体事業費	(百万円) 台	計(A + B + C + D	7,749	А	7,685	В	0 C	64	D (	0 効果促進事業費の割	l合C / ( A + B + C + D )	0.82	%

	計画の成果目標 (定量的指標)			
番号		拉	皇的指標の現況値及び目標	值
田与	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	R2末
1	合流式下水道改善率を41.7%(H28当初)から51.5%(R2末)に増加。			
	合流式下水道で整備された区域のうち、改善された区域の面積の割合	42%	42%	52%
	合流式下水道改善率(%)=(合流式下水道の改善された区域面積(ha))/(合流式下水道で整備された区域面積(ha))			
2	総合地震対策計画に位置付けている主要な管渠の耐震化率を0.0%(H28当初)から52.4%(R2末)に増加。			
	総合地震対策計画に位置付けている主要な管渠の耐震化率の向上	0%	31%	52%
	主要な管渠の耐震化率(%)=(耐震整備実施管渠延長及びマンホール数(m,基))/(耐震整備管渠総延長及びマンホール総数(m,基))			
3	巨大地震時における処理場の耐震化率を26.9% (H28当初)から51.9% (R2末)に増加。			
	巨大地震時における処理場の耐震化率の向上	27%	40%	52%
	処理場の耐震化率(%)= (耐震整備実施施設数(施設)) / (耐震整備が必要な総施設数(施設))			
4	巨大地震時におけるポンプ場の耐震化率を0.0%(H28当初)から7.7%(R2末)に増加。			
	巨大地震時におけるポンプ場の耐震化率の向上	0%	8%	8%
	ポンプ場の耐震化率(%) = (耐震整備実施施設数(施設)) / (耐震整備が必要な総施設数(施設))			
5	中島処理場設備の改築・更新を進め、老朽化対策率を0.0%(H28当初)から46.0%(R2末)に増加。			
	中島処理場設備の老朽化対策率の向上	0%	34%	46%
	設備の老朽化対策率(%) = (改築・更新済設備数(設備)) / (改築・更新が必要な総設備数(設備))			
6	富士見台処理場設備の改築・更新を進め、老朽化対策率を0.0%(H28当初)から87.0%(R2末)に増加。			
	富士見台処理場設備の老朽化対策率の向上	0%	83%	87%
	設備の老朽化対策率(%) = (改築・更新済設備数(設備)) / (改築・更新が必要な総設備数(設備))			

備考等	個別施設計画を含む	0	国土強靱化を含む	0	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供	
・豊橋市地域強靭化計画に基づき実施	される要素事業:A07-00	6、A	.07-007、A07-012、A07	-013											

		事業	地域	交付	直接	#***	14-01-4	14-01-0	要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	事業実	施期間(	年度)	全体事業費	費用	個別施設計
甚幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別 1	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H28 H29			(百万円)	便益比	策定状況
		一体的に	実施する	ることによ	り期待	される効果	'		1								1
		備考															
K道事業		下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	管渠(	新設	下地排水区 ( 浸水対策 )	実施設計(雨水管整備)	豊橋市				38		-
	A07-001						雨水)										
														•			
		下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	ポンプ	新設	菰口ポンプ場(浸水対策	ポンプ容量 6.5m3/s 1台	豊橋市				8		T -
	A07-002						場		)								
		下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	管渠(	新設	中島・野田処理区(水質	スクリーン 6箇所、貯留施	豊橋市				433		-
	A07-003						合流)		保全)	設 1箇所							
	合流改善																
		下水道	一般	豊橋市	間接	民間	-	改築	雨水流出抑制施設整備(	浄化槽の雨水転用 40基	豊橋市				1		-
	A07-004								浸水対策)								
		新世代															
		下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	管渠(	改築	老朽管調査 ( 管渠調査、	向山地区 L=11,100m、花田	豊橋市				447		-
	A07-005						合流)		布設替え、管更生)	地区 L=1,920m、羽根井地区							
										L=420m							
		下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	管渠(	改築	管渠(汚水・合流)(地	設計、工事(管更生、可とう	豊橋市				2,607		-
	A07-006						合流)		震対策)	化)							
						1			1						1		

A 基幹事業																	
		事業	地域		直接	宝芸老	種別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /			(年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接		「生力」 ・	作生力リ 4	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H28 H2	9 H30	H31 R02	(百万円)	便益比	策定状況
			実施する	ることによ	じ期待	される効果											
		備考	1	1		1			T	T							
下水道事業		下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市		改築	中島処理場他(地震対策	調査、設計、工事	豊橋市				309		-
A	07-007						理場		)								
		下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	ポンプ	改築	羽根井ポンプ場(合流)	調査、設計、工事	豊橋市				38		-
A	07-008						場		他(地震対策)								
			ı	1			1				-						
		下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	ポンプ	改築	羽根井ポンプ場(合流)	調査、設計、工事	豊橋市				250		-
A	07-009						場		他(地震対策)								
		下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	終末処	改築	ストックマネジメント計	計画策定	豊橋市		$\neg$		21		T_
A	07-010	1 3 2	/32	- III	7.0	- III	理場		画策定	III A.C.	프레마						
							72.00		I I I								
		下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	終末処	办统	ストックマネジメント計	計画策定	豊橋市				266		
A	07-011	下小垣	אניו	豆间마	百政	비매교	理場	IX <del>X</del>	画策定	山岡水佐	비면교				200		
							连场		四宋化								
		<b>—</b> 1.344	40	m1=1-	<b></b>		1.5 -L- t-	76.66		-n	m, z						A77-1-1-1-1-1
	07-012	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市		改築	中島処理場(長寿命化)	設計、工事	豊橋市				1,138		策定済
A	07-012						理場										
		長寿命化															
													•	•			

基幹事業		事業	地域	交付	直接	T			要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	車業宝	な 田 胆	(年度)	全体事業費	費用	/m musers = 1 =
基幹事業 (大)	番号	争来 種別	種別	対象	目接		種別 1	種別 2	安系とはつ事業も	事業内台 (延長・面積等)						更用 便益比	個別施設計画 策定状況
举针争未(八 <i>)</i>	田石	種別 種別 対象 間接 <sup>事業有</sup> <sup>性別 1</sup> (事業箇所) (延長・面積等) 港湾・地区名 H28 H29 H30 H31 R02 (百万円) 便益比 策定状況 一体的に実施することにより期待される効果															
		備考	・天心りで	2 C C IC a	トリ知可	C110xx											
 下水道事業		下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	終末処	改築	富士見台処理場(長寿命	設計、工事	豊橋市		1		960		策定済
	A07-013						理場		化)								
							22-30		10 )		<u> </u>						
		長寿命化	,														
		下水道		豊橋市	直接	豊橋市	管渠(	<b>辛斤</b> ≜母	豊川流域関連処理区(処	多米・牛川汚水幹線 L=1,57	<b>豊</b>		T		1,163		Τ_
	A07-014	下小足	אניו	디메대로	H1X	모메마	汚水)	37102	理区再編)	Om、多米、吾妻・東田地区					1,100		
							75/1/		(年 <del>位刊</del> 酬 )								
										L=570m							
		合流改善															
				m12-		#u*+		76.66	(本円より、1918 / 人)を生業	+n+1	##* <del>*</del>	1 1	1				<u> </u>
	A07-015	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	ポンプ	改築	鍵田ポンプ場(合流改善、	設計	豊橋市				6		-
	A07 - 013						場		)								
		4															
		合流改善	<del> </del>	1		1	_	1		T	L		_		1 1		_
											小計				7,685		
										1	1						
											合計				7,685		
				_		_			_		_						_
								1	•	•	•	1 1	1		1		1

		事業	地域	交付	直接	= ** +>	1 <del>4</del> Dil 4	1 <del>4</del> 111 0	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業	実施	期間(	年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別 1	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H28	H29	H30 H	131 R02	(百万円)	便益比	策定状況
		一体的に	実施する	ることによ	り期待る	される効果			1		1							<u>'</u>
		備考																
下水道事業		下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	-	新設	内水八ザードマップ作成	内水ハザードマップ作成	豊橋市					64		-
	C07-001								業務(浸水対策)									
		基幹事業	で実施す	する浸水対	策事業	・ ( 菰口ポンプ	<sup>7</sup> 場(浸水		で行うハード面の浸水対策	とソフト面の対策を同時に行	い、浸水に対する。	意識を「	句上で	させる	•			'
											小計					64		
					1													
											合計					64		
											H #1					04		
					T		I											1
			1	1			1	1	T							I I		1
						•	•		•	•	•							•
				l .			1		1		I							

## 事後評価 事後評価の実施体制、実施時期 事後評価の実施体制 事後評価の実施時期 豊橋市上下水道局(局長、次長、総務課、下水道施設課、下水道整備課)で実施 今和5年3月 公表の方法 豊橋市ト下水道局HPにて公表 事業効果の発現状況 ・合流式下水道の改善により、下水道施設の質的向上と機能の維持が順次図られている。 ・老朽施設の適切な改築更新により、下水道施設の質的向上と機能の維持が順次図られている。 ・下水道施設の耐震化により、災害に強い施設の整備が順次図られている。 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況 ・ポンプ場の浸水対策や浄化槽の雨水転用の推進による浸水のない安全安心な市民生活の確保が順次図られている。 ・管渠の調査や更生等を実施したことで、道路陥没等の事故防止に寄与することができた。 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述) 特記事項(今後の方針等)

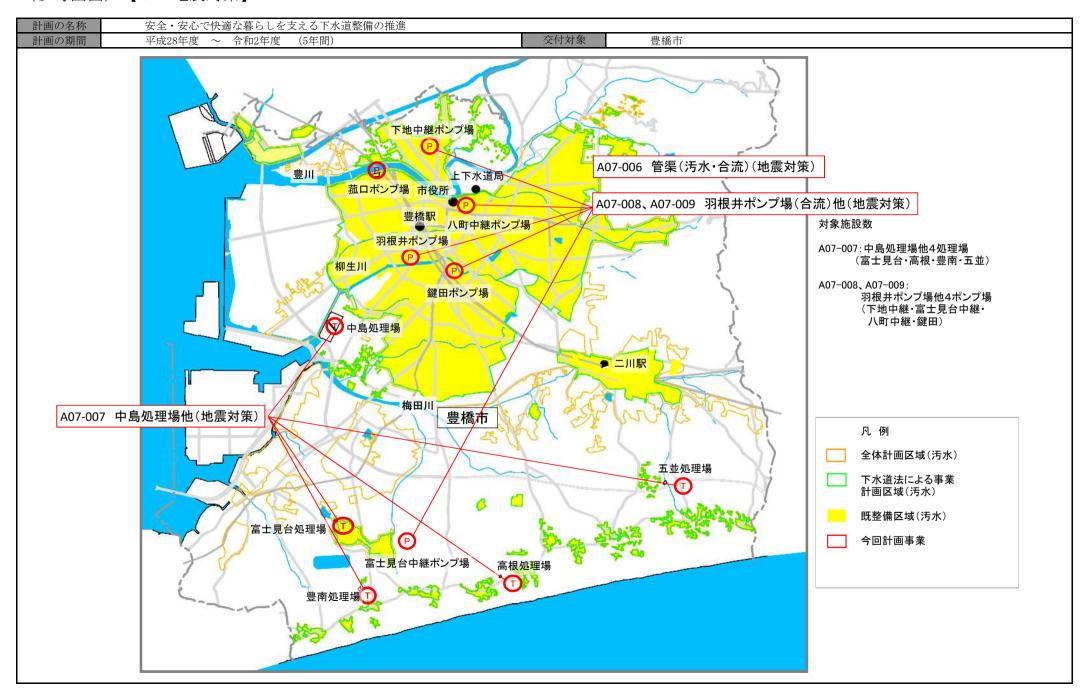
- ・合流式下水道の改善や老朽化施設の適切な改築更新を引き続き行い、下水道施設の質的向上と機能の維持を推進する。 ・下水道施設の耐震対策等を引き続き行い、災害に強い施設を目指す。

目	標値の達用		
	+6+番 / 5		
番号	目標値 /		目標値と実績値に差が出た要因
	合流式下	水道改善率の向上	
1	最 終 目標値	52%	合流式下水道改善事業を工程の被りが無いよう予定していたが、施工予定箇所で先に行っていた関連工事の進捗が遅れ合流式下水道改善事業 を順延したため、合流式下水道改善率が目標値を下回った。
	最 終 実績値	42%	
	主要な管	深の耐震化率の向上	
2	最 終 目標値	52%	地震対策を早急に進めるため、補正予算を受けて管更生等工事を行ったことにより、主要な管渠の耐震化率が目標値を上回った。
	最 終 実績値	71%	
	処理場の	耐震化率の向上	
3	最 終 目標値	52%	上下水道事業継続計画に定めた施設ごとの優先度に基づき、高根処理場含む3施設に代わり中島処理場1施設の耐震化を行うよう耐震化計画の 見直しを行ったため、処理場の耐震化率が目標値を下回った。
	最 終 実績値	46%	
	ポンプ場	の耐震化率の向上	
4	最 終 目標値	8%	事業進捗を図るため、補正予算を受けてポンプ場の耐震化工事を行ったことにより、ポンプ場の耐震化率が目標値を上回った。
	最 終 実績値	19%	
	中島処理	場の老朽化対策率の向	E.
5	最 終 目標値	46%	
	最 終 実績値	46%	

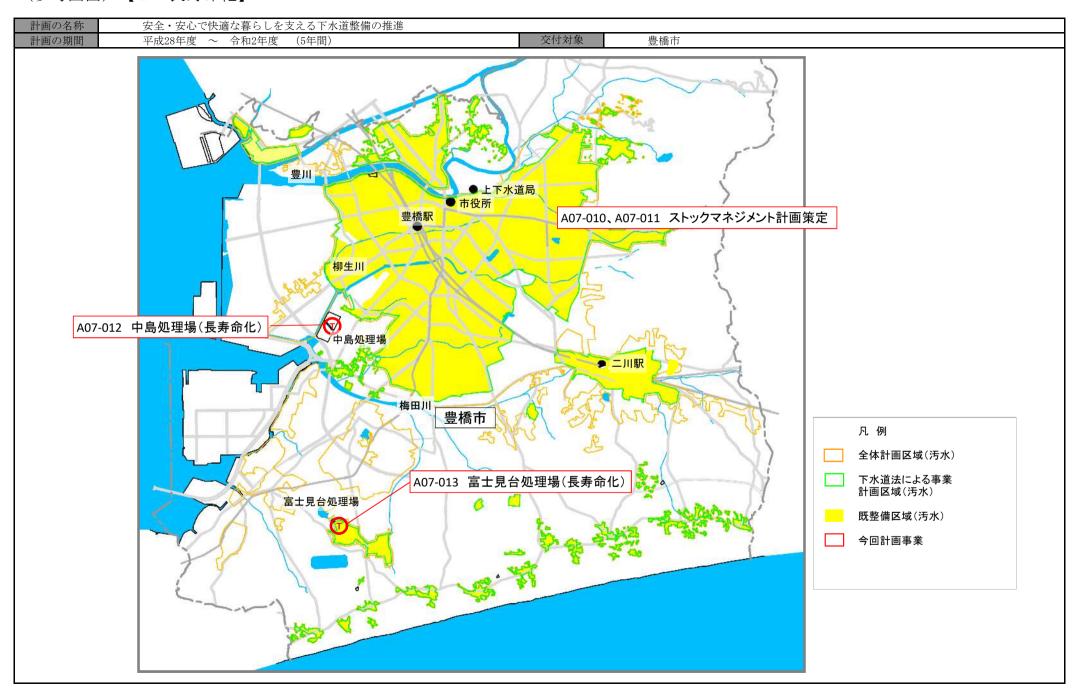
1

目;	標値の達成		
<b>—</b>	指標(略	·····································	
留亏	目標値 /	実績値	目標値と実績値に差が出た要因
		心理場の老朽化対策率	の向上
6	最 終 目標値	87%	当初老朽化対策の対象としていた123設備を再精査した結果、老朽化対策が不要となった動力制御盤含む3設備を対象から除外したため、処理 場設備の老朽化対策率が目標値を下回った。
	最 終 実績値	85%	

## (参考図面) 【1. 地震対策】



## (参考図面) 【2. 長寿命化】



## (参考図面) 【3. その他】

